

平成 30 年度 県立水戸高等特別支援学校 学校関係者評価表

評価項目	評価(人)		評価者からの意見等
1. 本年度重点目標の達成状況についての自己評価は妥当か	A	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>それぞれの取り組みの中で、成果があり、課題点は改善に取り組まれ、前進しようとする学校の姿が感じられました。</li> <li>自己評価を達成状況に合わせて、学年ごとの違いなどをさらに分析してほしい。</li> <li>自主的活動への取り組みは生徒それぞれの能力や障害の度合いに沿った指導がなされている。指導者のワーキングチームによる多面からの評価が行われている。</li> </ul>
	B		
	C		
	D		
2. 学校の具体的目標及び具体的方策の達成状況についての自己評価は妥当か	A	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒、保護者へのアンケート結果からも、目標設定と達成が十分であることがうかがえます。</li> <li>生徒の資格・検定取得は自立支援の大きな武器であり、今後も力を入れていく分野であると考えている。なにより本人の自信につながることを期待できる。資格取得がその後の自立に生かされることをより期待する。</li> </ul>
	B	1	
	C		
	D		
3. 学校は次年度への主な課題を把握しているか	A	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員の「働き方改革」も課題としてとらえられていることは評価できる。</li> <li>十分把握しており、分析から計画を立て、実践してそのフィードバックと改善がされていると思います。</li> <li>「TO BE シート」が個々の生徒の課題を明確にできるのであれば、その後の指導に大変有意義だと思う。</li> <li>ICTを使った学習方法は有効な手段であり、それにより生徒間の対話が活発・主体的になっているのかを考えていきたい。</li> <li>学校課題研究のテーマ・取り組みは評価できる。</li> </ul>
	B	1	
	C		
	D		
4. 学校の改善方策への対応は適切か	A	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>今年度だけでなく、長期的に見てとても素晴らしい学校になっていると思います。毎年の改善の積み重ねの結果だと思います。</li> <li>「働き方改革」は、定時退勤日、有給休暇の取得だけでなく、根本的な業務の見直しがなされることも大事である。</li> </ul>
	B	1	
	C		
	D		
5. その他教育課程の実施状況について	A	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>3年間の学校での教育の成果が高い就職率に表れていると思います。卒業生への支援もなされており、大きな役割を担っていると思う。</li> <li>地域活動での「働く」意欲等の形成維持は良い活動である。更にボランティア活動を積極的に取り入れてもらいたい。</li> <li>コンプライアンス推進計画と学校評価アンケートの結果は、次の目標や改善に役立つ資料だと思う。毎年同様のアンケートを実施し、変化や特徴からさらに踏み込んだ指導や学校経営ができることを期待する。</li> <li>コンプライアンスは常に意識すべき問題であり、定期的を開催することは大事である。</li> </ul>
	B		
	C		
	D		

[評価基準] A妥当である Bおおむね妥当である Cあまり妥当でない D妥当でない